



んッ

んッ

んふう

んんっ
プロデューサーっ

何で上着
忘れてくかな…っ

くちゅ

くちゅ

誰か来ちゃうかも
なのに手…
止まんないっ

こんなの誰かに
見られたら…っ

一人でこんな事して
アタシばかりみたい
じゃん…



それより
お姉ちゃん
Pくんの上着で
何してんの？

あっ
これはッ

その…莉嘉が
まだ知らなくて
いいことッ



なななんで
莉嘉がいるの!?

Pくんが上着
忘れたからって

アタシこれから
Pくんとお仕事だよ



えー莉嘉もう
みーんな知ってるよ

ええッ

Hなこと
してたんでしょー？

Pくんの上着の
匂いを嗅いでー
Pくんのこと
想像してー

りっ
莉嘉っ…

お姉ちゃんの
ここ こんなに濡れて
やらしーっ

ダメッ今は
触らないでっ

ダメだよ莉嘉あ
アタシもっっ

見つけたら
すぐ行くね☆

イっっちゃう
からっ

あっPくん
からだっ

莉嘉ッ!?

うんっ今
探してるよっ

あわっ

お姉ちゃん
すごいイっちゃったね

莉嘉…
何でこんなこと
知ってるの…?

はあ
はあ
はあ

んーっ
自分で勉強したりー
レッスンして
もらったりー

実はね お姉ちゃん…
アタシPさんに
告白して

そっか

莉嘉に先越され
ちゃったな…

もうHなことか
しっちゃってるんだ

莉嘉はちゃんと
気持ち伝えたんだ…

アタシも
しっかりしないと
ダメじゃんっ

そだ
お姉ちゃん
今度Pさんと三人で
デートしよっ

美嘉も一緒に
デートは
初めてだな

今日は
お姉ちゃんの
大事な話も
あるからね

ん？
そうなのか？

…うん
後でちゃんと
言うから

ほら
行こっ

Pくんアタシ新しい
服買ってほしいなーっ

今日は
全部プロデューサーが
出してくれるんだよね？

おうっ
まかせろっ

わー
コしちよー
ヤバくない？

Pくんも
一緒に入って！

ほらお姉ちゃんも
試着してみよう

ねえ
どう？

うおっ

待って
莉嘉っ

アタシたち
ちよーセクシー
でしょ☆

ああ
二人とも
良く似合ってるぞ



これがプロデューサーの…

やっぱじっ



あーっ Pくんお姉ちゃんの胸ばっかり見てるーっ

え？ いやっ…

もしかしてここもおつきくしちやってるんじゃない？

おいっ 莉嘉っ



お姉ちゃんなら挟めちゃうかもッ

きゃっ 莉嘉なにすんのッ!!

ぽんっ



まだ告白もしてないのに…

もう 莉嘉ったらこんなところで



プロデューサー挟んでほしいの…？

いいのか 美嘉？

プロデューサーがしたいならいいよっ

うおおっ
気持ちいいぞ
美嘉ッ

お姉ちゃんも
気持ちよさそうっ

プロテューサーの
おっきくて
熱くて硬いっ

ああっ
射精るっ

受け止めてくれ
美嘉っ!!

莉嘉は
もう知ってたんだ
こんなにエッチなことっ

もう服汚れ
ちゃったじゃん

ああ
買い取りだな

……

大丈夫だよ
後ろの席で
バシないし

今日は
いっぱい
するんだからっ

Pくんの
おちんちんは
底なしだし☆

ホントもう
すごいガッチガチ

そりゃ二人で
触られたら
勃ちちまうよ

ほらお姉ちゃん
なめてあげて

舐める……

んっ

くおっ





ラブホなんて
来るの初めて

なんか
緊張するね

ココって
エッチな事する
ためのトコじゃん

大丈夫っ
Pくん最初は優しく
してくれるから

おう
任せてけ

ドキ

キョッ



これから
プロデューサーと
しちゃうんだ

その前に
ちゃんと気持ち
伝えたいな...

そうだ
お姉ちゃん
Pくんに言うこと
あったんだっ

ああ
そうだったな

…うん

ありがとうっ
莉嘉

プロデューサー
ここまで来て
なんか順番とか
めちゃくちゃだけど

…美嘉
すまなかったな
気持ちは気づいて
いたんだか…

大好き
プロデューサー

有難う
俺も美嘉のこと
好きだぞ

莉嘉とのことも
あってな

それにPくんは
ゆーじゆーだんだから
こつちから襲っちゃわない
がおーって

これから
よろしくな

うん

アタシも
恋人として付き合っ
てほしいって思ってるッ

—でもっ
アピールしても全然
その気なさそうだったし



おい美嘉
初めてなんだから

んっ
大丈夫っ
今日一日中
エッチなことして
もうずっとこんな
だったんだから

頑張っつて
お姉ちゃんツ

ちゃんと
プロデューサーを
満足させるんだから

うらうらっ
入ってきた

はま

はま

はま



平気っ
このまま奥までっ



無理しなくて
いいんだぞ



いったあ

まだ先のほうだけ
入っただけなのにー



ああ
奥までずっぽり
入ってるぞ

んんっ
全部はいった



ああー
いいぞ美嘉
ヌルヌルで
キュンキュン
締め付けてくるっ

うん
ちよっと痛いけど
いけそうっ



プロデューサーの
硬くてアタシの奥
ズンズン突き上げてるッ



動けるか？

うん
ちよっと痛いけど
いけそうっ



お姉ちゃんばかり
ズルいーッ

Pくん
アタシも気持ち
よくしてよー



おっぴょー

あああーっ
いいよーPくん

アタシも
初めてなのに
気持ちよくなって
きちゃった



ああいきそうだ
美嘉っ

アタシももうっ

射精すぞっ

うん来て
中に出してえっ

ポクン

ポクン

ポクン

ポクン

ポクン



Pくん
おちんちん
いいよー

莉嘉の
おまんこは
ちっちゃくて
狭くて溜まらんっ

ポクン

ポクン

ポクン



アタシも
お姉ちゃんに
負けてらんないもん

ほらほらっ
JCまんこ
気持ちいいでしょっ



おおっ
莉嘉気持ちいいぞっ

わー
莉嘉はげしいっ



莉嘉すごい
気持ちよさそう

キスしてあげるっ

んっんっ
おねえ ちゃっ

Pくんの
アタシとお姉ちゃんの
かき回してるッ

莉嘉アタシっ
もう病み付きに
なっちゃったよ

二人なら
何回でも出せるぞっ

Pくんの
ラフラフせーえき
出してーっ

ちようだいッ
アタシたちッ

ああああっ
またいきそうだ



うおおおっ



あー
止まらないっ

あー
止まらないっ



はあ
すごかったあ

ねえ
プロデューサー……

Pくん……

これからは一緒に
エッチしようネツ



Pくんの
こんなに溢れて
きちゃった
ねーPくん
もっかいする？

まだ
するのか？

ちよつと莉嘉っ
明日一緒に収録
でしょっ！

そっか
そうだったっ

じゃあー
そのあと
いっぱいしょっ

もー
私も入れてよねっ

あとがき

こんにちは、どうも白根戴斗(しらねたいと)です。
お買い上げ本当にありがとうございます!

ずっと出そうと思っていましたかこんなに遅く…
今回は城ヶ崎姉妹本ということで書いてみましたが、お姉ちゃんメインな
感じになりました。
上手くカリスマ感出したかったなと思っております。
少しでも楽しんで頂けたらいいのですが…。
ちょっと詰め込みすぎたかな…。

近状は、廃人生活から抜け出したいと思っています。

ああVRやりて————ツ!!!





奥付

タイトル:いっしょのラブラブえっち

発行日:2016/12/31

発行元:青空少女

作者:白根戴斗

HP:<http://www.shiranetaito.com/>

Mail:shirane_az@yahoo.co.jp

印刷所:コーシン印刷様

※この本のすべての無断転載・未成年者の購入を禁じます。



2016
Winter

青空少女

※18歳未満の方の
閲覧、購入を禁止いたします。